

社寺名 大浜八幡神社 (今治市大浜 3-1-6)

奉納者 手嶋太助

奉納年 弘化2年(1845年)

解説

手嶋太助の師河上勝安については不明であるが、「瀬戸田」(現在の広島県尾道市)の人とある。

当神社が今治港の先端に位置し、海の神様、瀬戸内航路の守り神として多くの人々を集めていたので県境を越えて奉納された県内唯一の額である。

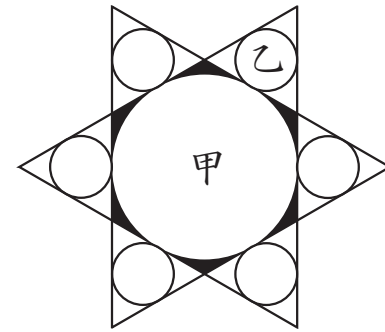
弘化二歳 次乙己
※月吉辰

関流六傳一道齊一幸 河上勝安門人

藝陽瀬戸田

手嶋太助印

術日置黒積平方開之得商名
極列零箇七分二厘九毫一絲八忽平方開之以
除極得乙圓徑合問



答日 乙圓徑二拾零寸 有奇

今有如圖三角遺※
挿甲圓容乙圓六箇
只云黒積二百九拾
一寸八分四厘九毫
餘問容乙圓徑幾何

奉納

問題文

図のように、三角形を斜めにずらし、そのすき間に甲円と乙円6個を入れる。黒積(黒く塗った部分の面積)が、291寸8分4厘9毛のとき、乙円の直径はいくらか。